

シンポジウム

人と自然が織りなす世界

奄美沖繩の生物文化



イジユ
©M. Moriguchi

琉球列島の島びとは、古来自然に寄り添い、自然とともに暮らしてきました。そのため身の回りの動植物や地形などに地方名をつけて利用し、さらにそれぞれの特性を理解して暮らしに活かす先祖代々の知識と知恵が各地域で引き継がれてきました（これを「生物文化多様性」と呼びます）。しかし、これらの地域の宝は、生活環境の変化、語り部の高齢化等により、急速に失われつつあります。

このような中、私たち研究チームは、消失の危機にある琉球列島各地に残る「生物文化多様性」の記録に取り組み、地元の方々と協同で次世代への継承のあり方を探っています。本シンポジウムでは、研究成果の報告と同時に、各地域の生物文化の特徴やそのもつ意味、地域の宝としての気づきや興味、さらには「生物文化遺産」としての創出の可能性を参加者のみなさまとともに探りたいと思います。

入場 無料

事前予約不要

定員200人

(先着順)

日時 **2018年11月23日(金)**
午後2時～午後5時30分(開場 午後1時30分)

場所 **沖縄県立博物館・美術館 2階 講堂**

〒900-0006 那覇市おもろまち3丁目1番1号

主催 **生物文化遺産プロジェクトチーム**

(連絡先 渡久地健 098-895-8266 kent@LL.u-ryukyu.ac.jp)

(関連イベント)
研究報告会「ユンヌの生物文化をかえりみる」(11月25日(日)午後2時30分より、与論町中央公民館、入場無料)

プログラム

はじめのあいさつ

司会・進行 高橋 そよ(琉球大学研究企画室上席URA・人類学)

当山 昌直(生物文化遺産プロジェクト代表)

[基調講演]

琉球弧の農耕文化と生物文化

安溪 遊地(山口県立大学名誉教授・人類学)

[各地からの報告]

八重山からの報告

八重山のアダン文化

寄川 和彦(石垣市立八重山博物館学芸員・民俗学)

宮古からの報告

宮古のサンバ文化

久貝 勝盛(宮古島市史編さん委員・動物学)

奄美からの報告

屋敷、アタリの植物と利用

田畑 満大(奄美市文化財保護審議委員・植物学)

沖縄島からの報告と全体のまとめ

奄美沖繩の生物文化——島じまを巡って

当山 昌直(沖縄大学地域研究所特別研究員・動物学)

パネルディスカッション 座長:花井 正光(元文化庁主任文化財調査官・保全生態学)

おわりのあいさつ

渡久地 健(琉球大学国際地域創造学部准教授・地理学)

トヨタ財団2016年度研究助成プログラム報告会

ユンヌの生物文化をかえりみる



琉球列島の島びとは、古来自然に寄り添い、自然とともに暮らしてきました。そのため身の回りの動植物や地形などに地方名をつけて利用し、さらにそれぞれの特性を理解して暮らしに活かす先祖代々の知識と知恵が各地域で引き継がれてきました（これを「生物文化多様性」と呼びます）。しかし、これらの地域の宝は、生活環境の変化、語り部の高齢化等により、急速に失われつつあります。

このような中、私たち研究チームは、消失の危機にある琉球列島各地に残る「生物文化多様性」の記録に取り組み、地元の方々と協同で次世代への継承のあり方を探っています。本報告会では、与論島を中心とした研究の成果報告と同時に、各地域の生物文化の特徴やそのもつ意味、地域の宝としての気づきや興味、さらには「生物文化遺産」としての創出の可能性を参加者のみなさまとともに探りたいと思います。



日時 **2018年11月25日(日)**
午後2時30分～5時30分(開場 午後2時)

場所 **与論町中央公民館(2階 大ホール)**

主催 **生物文化遺産プロジェクトチーム**

(連絡先 渡久地健 098-895-8266 kent@LL.u-ryukyu.ac.jp)

後援 **与論町教育委員会**

入場 無料

事前予約不要

プログラム

はじめのあいさつ

司会・進行 中本 敦(岡山理科大学講師・動物学)

町岡 光弘(与論町教育委員会教育長)

主催者のあいさつ

当山 昌直(生物文化遺産プロジェクト代表)

基調講演

ユンヌとユンイ——与論島と与那国島の命のとりえ方の対比

安溪 遊地(山口県立大学名誉教授・人類学)

報告①

漁師に学んだサンゴ礁の知恵

渡久地 健(琉球大学国際地域創造学部准教授・地理学)

報告②

島々の植物利用——伝承と歴史的記録

盛口 満(沖縄大学人文学部教授・生物学)

報告③

与論の植物

稲田 瑞穂(与論郷土研究会・植物学)

フリートーク——ユンヌを語る(進行 当山)

おわりのあいさつ

麓 才良(与論町文化財保護審議会会長・与論郷土研究会会長)

Reef Fishes ©K. Toguchi

本シンポジウムは、トヨタ財団2016年度研究助成プログラム「消失の危機にある琉球の生物文化の記録保存から『生物文化遺産』の道を聞く」(代表 当山 昌直)の助成を受けて開催します。

本報告会は、トヨタ財団2016年度研究助成プログラム「消失の危機にある琉球の生物文化の記録保存から『生物文化遺産』創出の道を聞く」(代表 当山 昌直)の助成を受けて開催します。